社会医療法人 協和会　加納総合病院を受診された患者の皆様

当院は，下記の研究を実施しております．この研究の対象者に該当する可能性のある方で，診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は，下記の問い合わせ先にお問い合わせください．	
研究課題名	大腿骨近位部骨折後の体幹筋断面積が歩行能力に与える影響
当院の研究責任者（所属）	河西　謙吾（リハビリテーション科）
他の研究機関および各施設の研究責任者	工藤　慎太郎（森ノ宮医療大学），福田　大輔（東大阪病院），片山　尚哉（大阪暁明館病院），横森　正喜（水無瀬病院）
本研究の目的	受傷時に診断のために撮影された体幹部のComputed Tomography（CT）から得られる体幹筋断面積が歩行形態に与える影響および退院時の歩行能力の低下に関連する因子を明らかにすることを目的とします．
調査データの該当期間	2020年1月～2023年3月
研究対象者	大腿骨近位部骨折を受傷し，当院で外科的治療が行われた方とします． 包含基準として65歳以上，受傷時に診断目的で体幹部のCTを撮影されている方，回復期病棟を経て退院された方とします．
研究方法（使用する情報）	研究デザインは後方視的研究とし，収集情報は年齢，身長，体重，骨折型（大腿骨頸部骨折/大腿骨転子部骨折），受傷前歩行手段，退院時歩行手段，CTによる体幹部の筋断面積（多裂筋/脊柱起立筋/大腰筋/側腹筋群/腹直筋）とします．
試料/情報の他機関への提供	該当なし
個人情報の取り扱い	使用する情報から氏名など対象者を特定できる個人情報は削除いたします．また，研究成果は学会発表および論文化を予定していますが，その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません．
研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し，開示すべき利益相反はありません．
問い合わせ先	電話番号　06-6351-5381 リハビリテーション科　河西　謙吾
備考	